

- 新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ -

県内の新型コロナウイルス検査の陽性者数は、第23週1,074人、第24週917人で、松山市及び東予地域で多い状況です。引き続きこまめな手洗いや手指消毒、人が集まる場所での定期的な換気といった基本的な感染予防対策を徹底しましょう。発熱や咳に限らず鼻水や喉の痛み、倦怠感など、軽い風邪のような症状であっても症状のある方は必ず人との接触を避け、かかりつけ医等の身近な医療機関や「受診相談センター(089-909-3483)」へ事前に電話相談し、案内に従って受診してください。詳しくは県ホームページをご確認ください。

『愛媛県ホームページ 新型コロナウイルス感染症に関する情報』 ➡



発生動向の概況

RSウイルス感染症の定点当たり報告数は、第23週0.7人から第24週1.0人と増加し、過去10年の同時期では2番目に多い状況です(最多は2021年1.4人)。特に今治保健所、中予保健所で多く、松山市保健所でも散発しています。この疾患は、2歳以下の乳幼児を中心に流行し、発熱や鼻汁、咳など軽いかぜ様症状がみられますが、生後6ヶ月未満の乳児が感染すると、細気管支炎や肺炎等の重篤な症状を起こすことがあります。日常的に乳児に接する方で咳等の症状がある場合は、マスクを着用し可能な限り乳児との接触を避けましょう。また、子どもたちが日常的に触れる手すりやおもちゃなどは、こまめにアルコール又は塩素系の消毒剤等で消毒し、液体せっけんとう流水による手洗いを励行しましょう。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、第23週6.7人から第24週6.6人と横ばいで推移していますが、四国中央保健所では急増しています。高温多湿の気象条件が続くこれからの季節は、細菌による感染性胃腸炎が増加する傾向があります。感染予防のため、調理前や食事前など、こまめに液体せっけんとう流水での手洗いを励行しましょう。また、まな板等の調理器具は生ものとはそれ以外のものを使い分け、使用後は洗浄、消毒しましょう。調理した食品は、長時間室温で放置せず早めに食べるようにしましょう。

県内での感染症発生状況

全数把握感染症 ※医療機関からの届出数を集計したもので、集計日以降の報告は次回以降に反映されます。

- 二 類 感 染 症 : 結核 2 例
- 五 類 感 染 症 : ウイルス性肝炎 (E 型肝炎及び A 型肝炎を除く) 1 例 (B 型、60 歳代女性)
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 2 例 (70 歳代男性、80 歳代男性)
- 急性弛緩性麻痺 1 例 (10 歳代男性)
- 水痘 (入院例) 1 例 (10 歳代女性)
- 梅毒 1 例 (20 歳代女性 2022 年県内累計 49 例)

新型インフルエンザ等感染症 : 新型コロナウイルス感染症 1,838 例

*その他、結核の届出が第20週に1例、新型コロナウイルス感染症の届出が第2週に3例、第3週に5例、第4週に10例、第5週に7例、第7週に4例、第8週に18例、第9週に2例、第10週に2例、第11週に4例、第12週に1例、第13週に10例、第14週に4例、第15週に1例、第16週に5例、第17週に1例、第18週に2例、第20週に1例、第21週に2例、第22週に12例ありました。

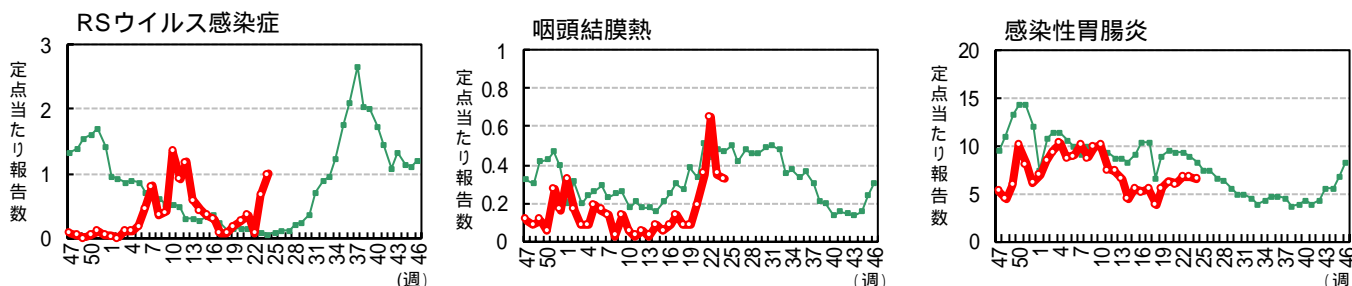
定点把握感染症 (数字は最新週の定点当たり報告数)

疾病名	愛媛県推移	県内の傾向
RSウイルス感染症	1.0	増加。今治、中予保健所で多く、松山市保健所で散発。
咽頭結膜熱	0.3	減少。今治、松山市保健所で散発。
感染性胃腸炎	6.6	横ばい。四国中央保健所で急増。

解析評価委員のコメントから

- RSウイルス感染症 : [東予] 今治市で増えてきているようです。 [中予] 微増です。
[南予] 報告はありません。
- 咽頭結膜熱 : [東予] 今治市で少しみられます。 [中予] 微増です。 [南予] 報告はありません。
- 感染性胃腸炎 : [東予] 重症は少ないですが、まだみられています。 [中予] 横ばいです。
[南予] 相変わらず発生が続いていますがやや減少傾向です。

過去30週の動向 (: 過去30週の動向、 : 過去10年の平均)



(注) 本情報での患者数は届出医療機関所在の保健所単位での集計で、患者の住所によるものではありません。感染症情報に関するご意見、ご質問は eikanken@pref.ehime.lg.jp までお願い致します。

○ 第21週に今治で採取された流行性角結膜炎患者検体からアデノウイルス37型が1例検出されました。流行性角結膜炎は、アデノウイルスの感染により引き起こされる眼疾患で、俗に「はやり目」と呼ばれています。主な症状は、結膜の浮腫や充血、流涙や眼脂（目やに）などです。このウイルスは感染力が非常に強く、涙のついた手やタオル等を介して感染が拡がり、人の接触の多い学校や職場、家庭内での流行が見られます。感染を防ぐため、液体せっけんと流水でよく手を洗い、タオルや枕、点眼薬など、涙で汚れやすいものの共用は避けましょう。

○ 第21週に松山市で採取された感染性胃腸炎患者検体からカンピロバクター（カンピロバクター・ジェジュニ（*Campylobacter jejuni*））が1例検出されました。Penner 遺伝子型別は gA 群^{HS:44}で、薬剤感受性試験の結果、ナリジスク酸、シプロフロキサシンに耐性を示しました。令和2年度厚生労働科学研究費補助金 食品の安全確保推進研究事業「食品由来薬剤耐性菌のサーベイランスのための研究」総括報告書によると、近年のヒト由来 *C.jejuni* における薬剤耐性率は、ナリジスク酸やシプロフロキサシンのキノロン系薬剤（約50~70%）で高くなっています。

過去5週 検出病原体

(2022年5月16日以降採取検体)

週	採取期間	発生地区	臨床診断名	検出病原体	検体	例数
21	5/23~5/29	今治	流行性角結膜炎	アデノ37	結膜ぬぐい液	1
		松山市	感染性胃腸炎	カンピロバクター	糞便	1

月別病原体検出結果

臨床診断別検出結果(2022年4月以降採取検体)

検体採取月		2022						合計
検出病原体		1	2	3	4	5	6	
ウイルス	ノロ		1	2	1			4
	サボ			1				1
	アデノ37	1				1		2
ウイルス計		1	1	3	1	1		7
細菌	カンピロバクター				1	1		2
細菌計					1	1		2

検出病原体	感染性胃腸炎	流行性角結膜炎	合計
ノロ	1		1
アデノ37		1	1
ウイルス計	1	1	2
カンピロバクター	2		2
細菌計	2		2

注) 表中の検出数は6月21日集計分であり、その後の検出結果は次号以降に反映されます。
咽頭ぬぐい液にはうがい液・鼻汁・鼻腔ぬぐい液等を含んでいます。

愛媛県 定点把握五類感染症 2022年 第24週 (2022.6.13~6.19)

患者報告数	インフルエンザ定点			小児科定点								眼科定点		基幹定点						四国中央 西条 今治 松山市 中予 八幡浜 宇和島 愛媛県 週推移 年齢別					
	1)			RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2)		3)		4)		1)		
	インフルエンザ	迅速検査A型	迅速検査B型														ロタウイルス胃腸炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎		インフルエンザ(入院)	
四国中央							31										-	-							四国中央
西条						5	54	3				1													西条
今治				14	4	1	4					2													今治
松山市				10	8	5	104	4				7					-	-	-	-	-	-	-	-	松山市
中予				13		4	24					5													中予
八幡浜							16					2													八幡浜
宇和島							11					2													宇和島
愛媛県				37	12	15	244	7				29													愛媛県
週推移				25	13	17	248	2	1		24	1	4												1週前
				3	24	10	248	3	3		25	1	2												2週前
				13	13	20	224	2	1		20		4												3週前
年齢別	0-5ヶ月			4			3				1														0
	6-11ヶ月			2	2		16	1			10														1-4
	1			7	8	1	51	1			14														5-9
	2			6			29				2														10-14
	3			9	1	4	25				2														15-19
	4			3		1	30								1										20-24
	5			5	1	3	14																		25-29
	6			1		1	12				8														30-34
	7						8																		35-39
	8					1	8																		40-44
	9					1	4																		45-49
	10-14					3	33	4																	50-54
	15-19						5	1								1									55-59
	20-29 ⁵⁾						6									1									60-64
	30-39															1									65-69
	40-49																								70-
	50-59															2									
	60-69															2									
	70-79 ⁶⁾															1									
	80-															1									

定点当たり報告数

四国中央		-	-				10.3				.3				-	-									四国中央
西条		-	-			.8	9.0	.5			.3					4.0									西条
今治		-	-	2.8	.8	.2	.8				2.0					4.0									今治
松山市		-	-	.9	.7	.5	9.5	.4			.6						-	-	-	-	-	-	-	-	松山市
中予		-	-	3.3		1.0	6.0				1.3														中予
八幡浜		-	-				4.0				.5					1.0									八幡浜
宇和島		-	-				2.8				.5														宇和島
愛媛県		-	-	1.0	.3	.4	6.6	.2			.8					1.1									愛媛県

- 1) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。 2) 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)。
 3) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く。 4) オウム病を除く。
 5) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。 6) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。
 *インフルエンザ患者のうち、迅速検査の結果が報告されたもののみ集計(A型・B型の合計数は必ずしも患者数と一致しませんのでご注意ください)。

(参考) 保健所別定点数

定点	数	愛媛県	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7	
小児科科定点	37	3	6	5	11	4	4	4	
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1	
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1	

注) 表中の報告数は6月22日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

愛媛県 定点把握五類感染症 2022年 第23週 (2022.6.6 ~ 6.12)

患者報告数	インフルエンザ定点			小児科定点										眼科定点		基幹定点						四国中央 西条 今治 松山市 中予 八幡浜 宇和島 愛媛県 週推移 年齢別				
	1) インフルエンザ		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) ロタウイルス胃腸炎		3) 細菌性髄膜炎		4) マイコプラズマ肺炎			1) クラミジア肺炎		1) インフルエンザ(入院)	
	迅速検査A型	迅速検査B型																								
四国中央					1	18									-	-										四国中央
西条				1	1	1	43	1			5	1														西条
今治				1	4	2	15		1		7		1													今治
松山市				12	5	12	121	1			6						-	-	-	-	-	-	-	-		松山市
中予				11	1	1	18				2		2													中予
八幡浜							15				2															八幡浜
宇和島					2		18				2		1													宇和島
愛媛県				25	13	17	248	2	1		24	1	4		8											愛媛県
週推移				3	24	10	248	3	3		25	1	2													1週前
				13	13	20	224	2	1		20		4		7											2週前
	1			10	7	26	232	2			28	1	1		7											3週前
年齢別	0-5ヶ月			1			3	1			1															0
	6-11ヶ月			3	2	1	6				10															1-4
	1			7	4	1	49				10	1														5-9
	2			3	3	1	27				2															10-14
	3			7	2	2	34		1					1												15-19
	4			4	1		23				1															20-24
	5					3	23																			25-29
	6						14																			30-34
	7						20							1												35-39
	8						9	1																		40-44
	9				1	3	5																			45-49
	10-14					5	27								1											50-54
	15-19						2																			55-59
	20-29 ⁵⁾					1	6								2											60-64
	30-39																									65-69
	40-49																									70-
	50-59														1											
	60-69														1											
	70-79 ⁶⁾														3											
	80-																									

定点当たり報告数

四国中央		-	-			.3	6.0								-	-										四国中央
西条		-	-	.2	.2	.2	7.2	.2			.8	.2														西条
今治		-	-	.2	.8	.4	3.0		.2		1.4		.2													今治
松山市		-	-	1.1	.5	1.1	11.0	.1			.5						-	-	-	-	-	-	-	-		松山市
中予		-	-	2.8	.3	.3	4.5				.5		.5													中予
八幡浜		-	-				3.8				.5															八幡浜
宇和島		-	-		.5		4.5				.5		.3													宇和島
愛媛県		-	-	.7	.4	.5	6.7	.1	.0		.6	.0	.1		1.0											愛媛県

- 1) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。
 2) 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)。
 3) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く。
 4) オウム病を除く。
 5) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。
 6) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。
 *インフルエンザ患者のうち、迅速検査の結果が報告されたもののみ集計(A型・B型の合計数は必ずしも患者数と一致しませんのでご注意ください)。

(参考) 保健所別定点数

定点	数	愛媛県	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7	
小児科定点	37	3	6	5	11	4	4	4	
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1	
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1	

注) 表中の報告数は6月15日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

全国 定点把握感染症 2022年 第22、23週 (2022.5.30 ~ 6.12)

(定点当たり報告数)

	1)	小児科定点										眼科定点		基幹定点					
		インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	菌A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) ロタウイルス胃腸炎	3) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	4) クラミジア肺炎
22	愛媛県		.1	.6	.3	6.7	.1	.1		.7	.0	.1							
週	近畿			.4	.1	5.5	.1	.1		.4	.0	.1							
	徳島県		.3	.7	.2	4.9	.1	.0		.5								.1	
	高知県			.4	.8	1.8	.1	.0		.6	.0	.1							
	全国	.0	.2	.4	.3	5.3	.1	.2	.0	.4	.0	.0	.0	.2		.0	.0	.0	.0
	北海道		.2	.3	.3	3.8	.1	.0		.2		.0						.0	
	東北		.1	.2	.3	5.3	.1	.0	.0	.5	.0	.0		.3		.0		.0	
	関東	.0	.1	.2	.2	5.6	.1	.2	.0	.4	.0	.0	.0	.3	.0	.0	.0	.0	.0
	甲信越北陸		.1	.6	.4	5.7	.1	.6	.0	.4	.1	.0		.1				.0	
	東海		.7	.3	.2	4.8	.1	.1	.0	.3	.0	.0		.1		.0		.0	
	近畿	.0	.3	.5	.3	5.1	.1	.1	.0	.4	.0	.0		.2				.0	
	中国四国		.1	.5	.5	5.0	.1	.1	.0	.5	.0	.0		.1		.0	.0	.0	
	九州沖縄		.2	.5	.6	6.1	.1	.6	.0	.6	.1	.0		.2		.0		.0	

(6.8集計)

23	愛媛県		.7	.4	.5	6.7	.1	.0		.6	.0	.1		1.0					
週	近畿			.3	.3	5.6	.0		.0	.5									
	徳島県		.1	.3	.1	4.1		.0		.6	.0	.0							
	高知県			.5	.2	2.5	.0	.1		.6	.0	.1		.7				.1	
	全国	.0	.3	.4	.3	5.4	.1	.3	.0	.4	.1	.0	.0	.2		.0	.0	.0	
	北海道		.3	.6	.5	4.2	.1	.0		.2	.0	.0		.0				.0	
	東北	.0	.1	.3	.2	4.8	.1	.0		.5	.0	.0		.3	.0	.0	.0	.0	
	関東	.0	.2	.3	.2	5.8	.1	.3	.0	.4	.1	.0		.3	.0	.0	.0	.0	
	甲信越北陸		.1	.5	.4	5.8	.1	.4	.0	.3	.1	.0		.2		.0	.0	.0	
	東海	.0	.8	.3	.2	4.7	.1	.1	.0	.4	.0	.0		.1		.1		.0	
	近畿	.0	.3	.6	.3	5.6	.1	.1	.0	.3	.1	.0		.2		.0		.0	
	中国四国	.0	.2	.4	.4	5.2	.0	.2	.0	.4	.0	.0		.3		.0	.0	.0	
	九州沖縄		.2	.6	.7	5.6	.1	.7	.0	.7	.1	.0		.2		.0	.0	.0	

(6.15集計)

1) 鳥インフルエンザを除く。

2) 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)。

3) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く。 4) オウム病を除く。

